

Wordのスタイルを InDesignに取り込む

手順と注意点

はじめに

DTP作業時の文字原稿としては、Word形式のファイルで入稿されてくることが少なくないと思います。

ただのテキストのベタ打ちなら、そのままテキストとして取り込めばいいのですが、見出しなどのスタイル設定がしてあった場合などはInDesign上のスタイルと置き換えて使いたくなることもあると思います。

またスタイル設定はされていなくても、文字がボールドにしてあったり色が変えられていた場合は、一度Word上で該当する箇所にスタイルを適用してしまい、それをInDesign上のスタイルに置き換えた方が便利な場合もあると思います。

そういう状況を想定して、Word上のスタイルをInDesign上のスタイルに置き換えて読み込む手順や注意ポイントを紹介します。

※なお、操作画面や手順はWindows版InDesign2020と、Office365 Word バージョン2001を使用しています。

InDesign側の準備

まずはInDesign側に必要なスタイルを用意する必要があります。Wordを取り込んだあとで新規に段落スタイルを作っていくこともできますが、今回はWordのスタイルを「置き換えて取り込む」ことを想定しているので最初にInDesign上にスタイルを用意します。

とりあえず以下のように、ID見出し1・ID見出し2とIDスタイル1の計3つの段落スタイルを用意するものとします。



Word側のスタイル

Word側は標準で作られるスタイル以外に「WDスタイル1」というスタイルを独自に作って追加してあります。

あア亜 WDスタイ...	あア亜 ↓標準	あア亜 ↓行間詰め	あア亜 見出し 1	あア亜 見出し 2
あア亜 表題	あア亜 副題	あア亜 斜体	あア亜 強調斜体	あア亜 強調斜体 2
あア亜 強調太字	あア亜 引用文	あア亜 引用文 2	あア亜 参照	あア亜 参照 2
あア亜 書名	あア亜 ↓リスト段落			

置き換えテーブル(頭の中)

Word側のスタイルをInDesignのどのスタイルで置き換えるのかを決めておきます(頭の中で)。

ここでは標準で用意されているスタイルで、よく使われるであろう見出し1~2と、自分で追加したWDスタイル1を、InDesignのスタイルに置き換えることとします。

Wordのスタイル

InDesignのスタイル

見出し1

→

ID見出し1

見出し1

→

ID見出し12

WDスタイル1

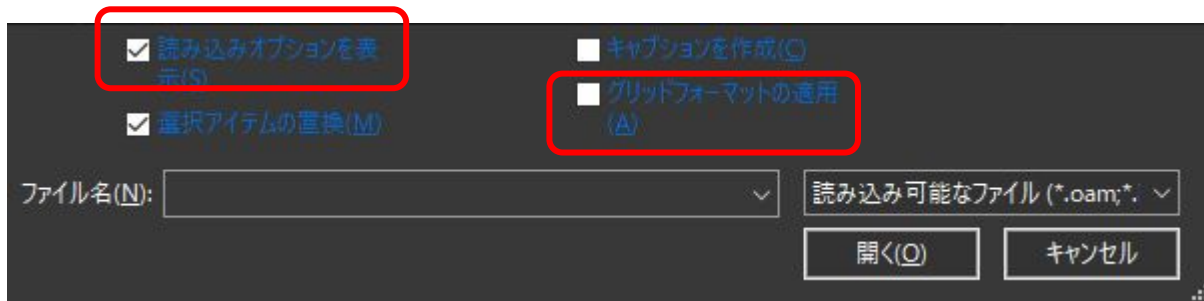
→

IDスタイル1

InDesignの配置オプション

InDesignでWordのファイルを取り込む際は「ファイル→配置」を選ぶか、ショートカット「Ctrl+D」(Macの場合は⌘+D)を選びます。

[読み込みオプションを表示]にチェックを入れ、[グリッドフォーマットの適用]のチェックを外し、読み込むWordファイルを選んで[開く]を押します。



読み込みオプション

[Microsoft Word読み込みオプション]画面で、[フォーマット]の[スタイル読み込みをカスタマイズ]にチェックを入れて[スタイルマッピング]のボタンを押します。



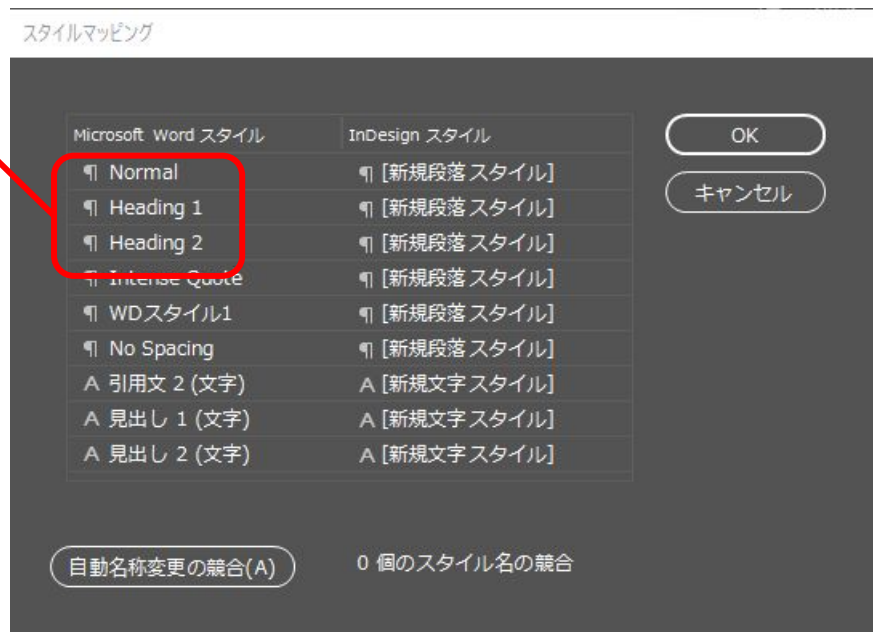
スタイルマッピング

WordとInDesignのスタイルの置き換え設定をするのですが、Word側のスタイル名の指定には注意が必要です。

Wordのデフォルトのスタイルである「標準」「見出し1」「見出し2」はInDesign上では以下のように表示されます。

Word上	InDesign上
標準	Normal
見出し1	Heading1
見出し2	Heading2

自分で作ったスタイルの名前「WDスタイル1」は、そのままの名前で認識されます。



スタイルマッピング

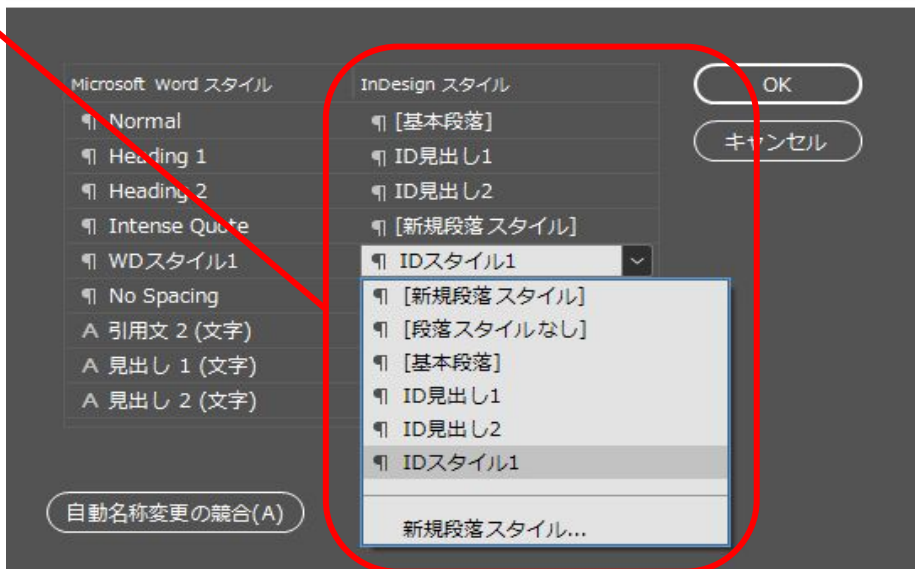
Wordのスタイルに対応する、InDesignのスタイルを右の列で選んで決めます。

右の「InDesignスタイル」の列の項目をクリックすると、InDesign上の段落スタイルが選べるようになるので対応する段落スタイルを選びます。
今回は以下のようにしました。

Wordスタイル	InDesignスタイル
Normal (=標準)	[基本段落]
Heading1 (=見出し1)	ID見出し1
Heading2 (=見出し2)	ID見出し2
WDスタイル1	IDスタイル1

設定し終わったら[OK]を押し、読み込みオプション画面に戻り[OK]を押しして実行します。

スタイルマッピング



フォントの置換とオーバーライドの消去

読み込みオプション画面から読み込んだ際に、フォントの置き換えを求められたら、フォントの置き換えを実行してください。

また読み込んだあとに、スタイル名の後ろに+がついてオーバーライド状態になっている場合は、文字を全部選択し、段落スタイルパレットのオプションメニューから[オーバーライド]を消去を選んで、オーバーライドを解消してください。

